

第 68 回結核予防全国大会が開催されました

平成 29 年 5 月 18 日（木）、19 日（金）に北海道札幌市の札幌パークホテルにおいて、結核予防会総裁秋篠宮妃殿下のご臨席を賜り第 68 回結核予防全国大会が開催されました。

大会初日には、「低まん延状況における結核対策と肺の健康活動の展開」をテーマに研鑽集會が開催され、基調講演とシンポジウムが行われました。基調講演では、結核の患者中心の医療・対策および結核予防会の今



後の重点活動である「肺の健康」

研鑽集會（総合討論）

とその実践として始まった COPD が取り上げられ、どのような病気か、また予防、治療についてわかりやすく解説されました。

続くシンポジウムでは、北海道における結核医療、健診事業、保健所における結核対策、地域における結核患者支援並びに婦人会活動について講演がありました。

研鑽集會の後、アトラクションとして札幌市立真栄中学校合唱部による「さわやかな北のうた」が披露されました。

大会二日目の大会式典では、総裁秋篠宮妃殿下より結核予防事業に対する功績が顕著な方々に対し、秩父宮妃記念結核予防功労賞が授与され、国際協力功労賞 1 名、保

健看護功労賞 3 名、事業功労賞 1 団体、5 名の方々が受賞されました。



講演する三國先生

式典終了後、オテル・ドウ・ミク
ニ オーナーシェフの三國清三氏
により「北海道における食の楽しみ」
と題した特別講演が行われ、盛会裏
に全日程を終了しました。